

# \*w0rx&pieces

\*Works & pieces

Presentation Book : SPACES , GRAPHICS & PRODUCTS



新海一朗（シンカイ イチロウ）

1979年生まれ

2004年千葉大学大学院デザイン専攻卒業後、株式会社白水社を経てフリー。

受賞歴：2010 有機EL照明デザイン公募ファイナリスト

WORLD Space Creators Award 2008 最優秀賞

JT Smokers' Style Competition 佳作

インテリアデザイン、グラフィックデザインを中心に活動

**Ichiro SHINKAI**

Born in 1979.

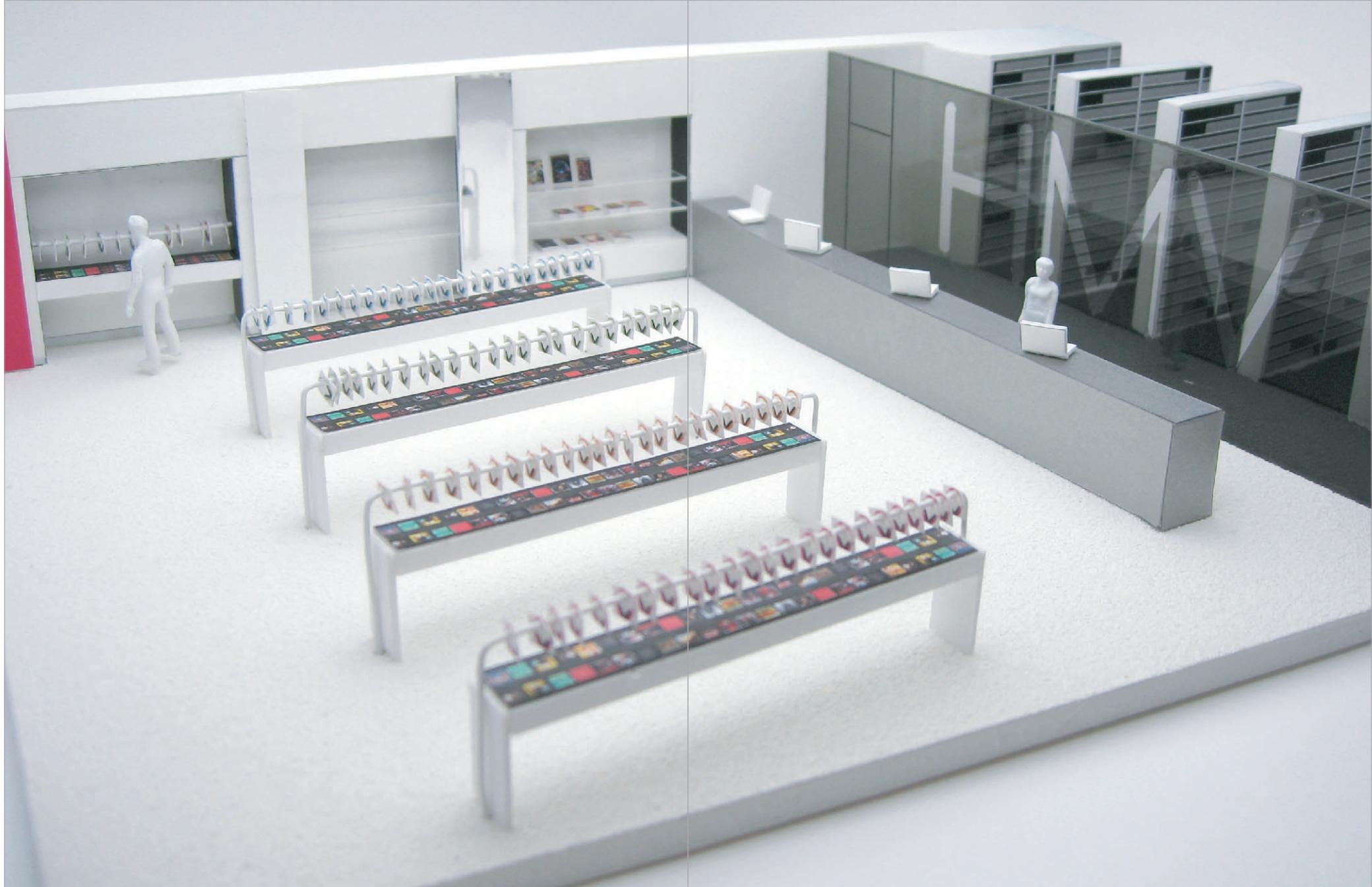
After graduating from the Chiba University Graduate School of Design, joined Hakuisha, Inc. in 2004.

Previous Awards: The Organic EL Lighting Design Competition Finalist.

WORLD Space Creators Award 2008 Grand Prize.

JT Smokers' Style Competition Honorable Mention.

Currently working primarily in the fields of interior and graphic design.



# Music Closet

音楽を聞くメディアが CD から MP3、ケータイへと変化している。また、音楽にかけられる支出も減るなど CD 販売には難しい時代となった。だが CD という音楽メディアは、普段 CD を買わない層に対してまだまだ面白いものであると伝えることができるのではないか？そしてヘビーユーザーに対してもまだ買っていないタイトルを提案できるのではないか？そして何より CD ショップのあり方にはチャレンジの余地があるのではないか？そんな思いから生まれた CD ショップのデザイン。

その思いを実現する為に 3 つの仕掛けを考えた。まずは売り物であるすべての音楽を、実際にわかりやすく試聴してもらうこと。さらに、音楽とその背景にある文化に触れてもらうこと。そして CD ショップならではのショッピングシーンを生み出すこと。

これらを強く、そしてわかりやすく実現する為に、「好きな音楽を探し出せるクローゼット」を考えた。

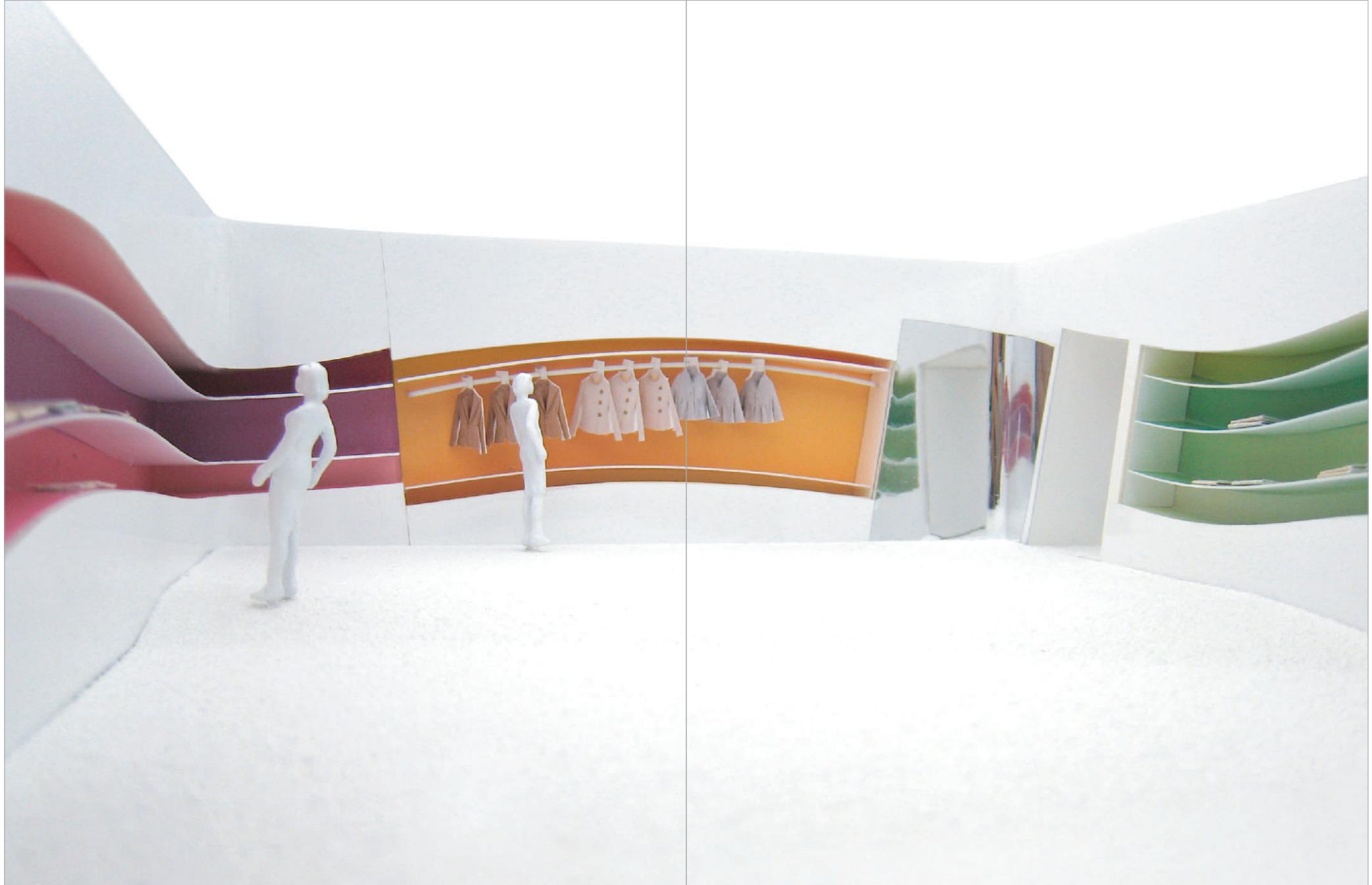
クローゼットとは、お気に入りの洋服が並ぶ空間。クローゼットで服を探し、肩にあててみると、そんな楽しい瞬間を CD ショップにあてはめたのがこの“Music Closet”。

「試着」してみたくなる様にヘッドホン（= 音楽の象徴）をディスプレイ。お気に入りの曲を、フィッティングするように探し出すことができる。

HMV

Design + Planning 2008





# The Gold Digger

「あっ！こんなのが欲しかったんだよ！」という物との出会い。それがショッピングのよろこび。  
それならそういう好みの物が沢山あればいいのか、というとそうではないと思う。いろいろな物を見たり比べたりしながら探す過程が大切だ。「何かあるかな...」の時間があってこそモノとの出会いがドラマチックになる。その出会いまでの過程こそがショップのデザインなのだと思う。  
あった！のあとは値札をみて断念することも、サイズがあわずガッカリすることもあるかもしれない。  
でもそうやってワクワクできた店ならきっと、お客様はまた行ってみようと思うだろう。  
このショップはファンションと出会いまでの「探す」という行為を、地中に埋まった宝物を探す行為に見立て、「地層」をモチーフにした空間となっている。

このショップの店員さんは商品を「陳列」ではなく、棚に「隠す」ことが仕事なのかもしれない....。

WORLD Space Creators Awards 2008 : Grand Prize

Design

2008





# Relax, Refresh

これまでエキナカで展開してきたコンビニエンスストア「NEW DAYS」の初の路面型となる店舗。

コンビニを利用するほとんどの人々に共通することは仕事や学校に向かう前、遊びに行く前、

あるいは家路へつく前といった「移動の合間」に利用するということ。

もともとは「いつでも」「どこでも」「便利」なことが求められたコンビニであったがそのことが当たり前となった今、人々が求めるのは移動の合間にいったん気分をリセットできる場所ではないかと考えた。

その為に必要なサービス・商品も含めクライアントと共に繰り返し検討を行い、導きだしたのがこの新しいNEW DAYS。

ゾーニングにあたってはエントランスゾーンとイートインコーナーでは広場を、軸柱が連続する売り場では路地を、といったように都市の中でも心地よいモチーフを意識している。

マテリアル・詳細デザインの検討では多店舗展開に向けた効率性よりも今後の展開でも大切にしたいコンセプトを重視しており、また立地や街を持つポテンシャルを出来る限り引き出す意識をしたことこそこれまでのコンビニ業態との大きな違いになっている。

NEW DAYS Shinjuku West

DDA Award for Display Design (Display Design Prize Of The Year) : Winner

Planning

2007





# Shin O-cha Style

お茶を買うという行為を考えた時、茶箱が並ぶ昔ながらの店だけが現代生活に適切であるかは疑問であった。「吟」では、表面的ではなく本質としてのお茶の伝統や良さを現代生活に相応しいデザインの中で体感してもらうことが目的であった。同時に店名の「吟」の由来である「吟味」という行為をデザイン時にも繰り返し意識し、シンプルでありながらこだわりがあり、そしてお茶の持つ「味」「香り」「色」「触感」といった様々な側面を直接感じ取ることができる空間づくりを目指した。

吟 -GIN-

DDA Award for Display Design (Display Design Prize Of The Year) : Winner

Planning

2005



# COCOON

“分煙”は矛盾していないだろうか？

スマーキングエリアを手のひらサイズにすることで、非喫煙者と喫煙者の

“ボーダーレス”を目指したポータブル・エアー・クリーナー。

“人と人”を分ける分煙から “煙と人”を分けるスマーキングスタイルへ。

“パブリック”な喫煙所から “プライベート”な喫煙所へ。

Private Smoking Area

JT Smokers' Style Competition Honorable Mention

Planning + Design

2006

Co Planners / Designers : Youko Fukutomi, Yayoi Omata, Maya Matsumoto





## Aluminum-foil Chair

遠足の弁当。

母が作ったおにぎりを包んでいたのはアルミ箔。

食べ終わった後にはそのアルミ箔を丸め、仲間達でのキャッチボール。

本来、金属は固く冷たいものといったイメージ。

だがアルミ箔はそんな思い出によって、温度では表現できないあたたかさを感じさせる。

キラキラと美しい素材感。

人の手仕事を感じさせる皺。

子供の頃をも思い出させるあたたかさ。

ギュッと固められたアルミが持つ魅力と、

「すわる」という機能が結びつき、新しいデザインが生まれた。

この椅子がまた新しい思い出を創り出せたら、どんなに素晴らしいだろう。

SUS Aluminum Award

Planning + Design

2008

# mizu-kagami

月明かりがゆらゆらと水面に反射する瞬間を、そのまま閉じ込めたような光。  
面で輝くその光はチューブのなかを美しくリフレクトしながら、周りを静かに照らし出している。  
光そのものを観る、面白さ。

その光をふと眺めると、厚く見えたり薄く見えたり。  
動いてないはずの光だが、動いているように見える不思議。  
光のもつ美しさと、有機ELならではの光が作りだす驚きの瞬間をデザインしてみた。

Organic Electro-Luminescence Desk Light  
Planning + Design  
2009





## Graphic Design

Flyer / CD Jacket / Newyear Card  
Design  
2002-2009

# Graphic Design

Flyer

Design

2002-2009





# \*Worx&pieces

\*Works & pieces

Presentation Book  
of  
Spaces , Graphics & Products

Ichiro SHINKAI

E: Info@Freestyleworkshop.com  
T: 09024020414

20.Jul.2009